

令和7年度下半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	本郷児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市青柳町5丁目24番1号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,223,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,468.33㎡ ◇延床面積:488.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		R7 下半期	R7 上半期	R6 下半期	R6 上半期	R5 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	6,234	6,793	6,095	6,715	6,312
	移動児童館利用者数	271	128	303	168	428
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※7(6)	※5(5)	※10(9)	※9(9)	※12(11)
	開館日数(単位:日)	151	156	151	154	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画どおり実施しました。 ②常勤職員3人、非常勤職員1名(内児童厚生員3人)を配置しました。 ③おたよりについて 未就学児の保護者用と小学生用おたよりを毎月それぞれ発行しました。未就学児用向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の施設も知っていただき、本郷児童センターも利用してもらえるようにしました。 毎月発行するおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただくことで、「ツナグテ」の利用者にも本郷児童センターのPRを行うことができました。 児童用の館内案内を作成 児童センターの利用方法を記載したおたよりを作成しました。小学生以上の児童は保護者がいなくても利用できること、入館カードの記入時に緊急連絡先を記入していただくことを記載しました。 ホームページによる情報提供 毎月おたよりの定期更新と事業の案内や活動の様子など、身近に感じていただけるようブログを随時更新しました。また、事業開催で駐車場や館内の混雑が予想されるときは、利用者に事前に案内をしました。イベント等で駐車場が満車の場合や市内の他校区のクマ出没情報を緊急案内としてお知らせをしました。 インスタグラムによる広報・宣伝活動の充実 毎月のおたよりやフォトコーナーは随時更新し、新しいイベントの案内が閲覧できるようにしました。ハイライトも有効に利用し、必要な情報がすぐに見られるようにしました。

		<p>また、事業開催で駐車場や館内の混雑が予想されるときは、HPと同様に事前に利用者に案内をしました。イベント等で駐車場が満車の場合や市内の他校区のクマ出没情報も投稿しました。事業の案内、募集、活動の様子なども#やBGMをつけて写真や動画でこまめに投稿をしました。</p> <p>Facebook やHPのリンクも貼り付け、より多くの方に本郷児童センターの情報を閲覧してもらえるようにしました。</p> <p>QRコードの活用によるPR 児童センターの活動を知っていただくため、HPとインスタのQRコードを館内に掲示しました。また毎月発行するおたよりにも載せました。</p> <p>多くの人が集まるけやきまつりや第3ブロック交流会などの移動児童館でも、知っていただくために掲示をしました</p> <p>母子モへの登録、広報活動 幼児対象の学期ごとの幼児クラブ案内を載せました。</p> <p>イベント案内版について 館内に行事の案内板を作り、未就学児用と児童用に分けて利用者によりわかりやすいように掲示をしました。工作は見本も一緒に掲示をしました。</p> <p>④ご意見箱を玄関に設置し、いつでも利用者からのご意見・ご要望を記入していただけるようにしました。また、苦情解決の仕組み・苦情の申出先を館内掲示することで、苦情に対し適切に対応することができる体制としました。</p> <p>アンケートによる利用者の意見調査 保護者60人を対象に12月に、児童50人は12～1月に実施しました。職員、施設、事業について回答をしていただきました。イベント参加者だけでは偏った意見になるため、一般利用者の児童、保護者、祖母、母親クラブに参加の方にもご協力をいただき回答をしていただきました。</p> <p>結果について館内に掲示をしました。ホームページにも掲載し、広く公開しました。パンフレットコーナーに印刷したものをおきました。</p> <p>⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。</p>
<p>自主事業 提案事業</p>		
<p>施設管理</p>	<p>①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理</p>	<p>①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。</p> <p>②施設の清掃は、職員による日常清掃と就労継続支援B型事業所による週2回の清掃を実施しました。園庭の草は草刈り機を使用し定期的に刈り、花壇の手入れも適宜行いました。</p> <p>岐阜版アダプト・プログラムに申込み、児童センター周辺道路や地域の清掃活動を実施しました。</p> <p>幼児が使用するおもちゃは、昼と夕方に清拭消毒を行い、拭くことのできない人形や本はオゾン保管庫で行い、感染対策を継続しました。</p> <p>玄関に消毒液を、手洗い場やトイレはハンドソープと消毒液を設置しました。</p> <p>快適で安全に施設を利用していただくため、上半期に幼児室とおもちゃ図書館は業者に清掃をしてもらいました。エアコンの温度管理と換気、加湿に気をつけました。</p> <p>③未使用の部屋の消灯、室内の適正な温度管理に努めました。エアコンフィルターの掃除や月1回空気清浄機のフィルター掃除を行い、節電に努めました。</p> <p>おもちゃ病院ぎふに壊れたおもちゃの修理を依頼し、おもちゃが長く使えるようにしました。環境に配慮し、廃材を活用した事業を実施しました。また、廃材をアップサイクルして、児童用のゲームを作成しました。地域の資源分別回収へ資源ごみを出しました。</p> <p>④専門業者による設備、遊具の点検を依頼しました。毎日の日常点検と月1回、職員による施設内外の安全点検、月2回のAED点検を実施しました。おもちゃは昼と夕方、2回の消毒の際に点検を行い、備品の維持管理に努めました。</p>
<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備</p>	<p>①修繕要望書を、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に提出しました。利用者の安全性が確保できない遊具は、利用を中止しました。毎日職員が点検を行い、危険箇所がないように気をつけました。軽微な修繕(館内の壁や本棚のペンキ塗り)、草刈りは職員が行いました。</p>

		②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出しました
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規定、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 また災害や事故が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告をしました。防犯・防災訓練(毎月1回)を実施しました。事務室を離れる時は、緊急通報装置を携帯しました。警察に定期的に巡回を依頼しました。 個人情報が記載された用紙については、鍵のかかる場所に保管し、使用后すべてシュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。電子メールの誤送信対策の徹底を図りました。メールアドレスを他者に漏洩することがないように電子メールを使用して一斉配信をする際は、自動的にBCCに変換できるソフトを導入し、対策しました。 また、大規模災害対策として飲料水や非常用食の他に、職員用ヘルメットを準備しました。救急箱の中を確認し、不足しているものを購入しました。非常持ち出し品のチェックリストを作成しました。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況及び実施結果</p>	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート></p> <p>【期間】 令和7年 12月 4日 ~ 12月 26日</p> <p>【回答者数】 60人</p> <p>【校区】 明郷: 12人 本荘: 6人 徹明さくら: 6人 島: 4人 岐阜: 4人 早田: 3人 鏡島: 3人 市橋: 2人 その他市内: 20人 その他市外: 0人</p> <p>【年齢】 10代: 0% 20代: 5% 30代: 80% 40代: 8% 50代以上: 7%</p> <p>【評価】</p> <table border="0"> <tr> <td>(あいさつ)</td> <td>満足: 98%</td> <td>ほぼ満足: 2%</td> <td>普通: 0%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(言葉づかい)</td> <td>満足: 100%</td> <td>ほぼ満足: 0%</td> <td>普通: 0%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(利用者対応)</td> <td>満足: 98%</td> <td>ほぼ満足: 2%</td> <td>普通: 0%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(利用しやすさ)</td> <td>満足: 92%</td> <td>ほぼ満足: 6%</td> <td>普通: 2%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(整理整頓)</td> <td>満足: 97%</td> <td>ほぼ満足: 3%</td> <td>普通: 0%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(清潔感)</td> <td>満足: 93%</td> <td>ほぼ満足: 7%</td> <td>普通: 0%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(換気)</td> <td>満足: 95%</td> <td>ほぼ満足: 3%</td> <td>普通: 2%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> </table> <p><小・中・高校生用アンケート></p> <p>【期間】 令和7年 12月 6日 ~ 令和8年 1月 21日</p> <p>【回答者数】 50人</p> <p>【学年】 小学: 1年 8人 2年 9人 3年 14人 4年 6人 5年 7人 6年 3人 中学: 1年 1人 2年 0人 3年 2人 高校: 1年 0人 2年 0人 3年 0人 無回答: 0人</p> <p>【学校名】 明郷小 42人 岐阜中央中 2人 本荘小 2人 その他市内 4人 その他市外 0人</p>	(あいさつ)	満足: 98%	ほぼ満足: 2%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%	(言葉づかい)	満足: 100%	ほぼ満足: 0%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%	(利用者対応)	満足: 98%	ほぼ満足: 2%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%	(利用しやすさ)	満足: 92%	ほぼ満足: 6%	普通: 2%	やや不満: 0%	不満: 0%	(整理整頓)	満足: 97%	ほぼ満足: 3%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%	(清潔感)	満足: 93%	ほぼ満足: 7%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%	(換気)	満足: 95%	ほぼ満足: 3%	普通: 2%	やや不満: 0%	不満: 0%
(あいさつ)	満足: 98%	ほぼ満足: 2%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(言葉づかい)	満足: 100%	ほぼ満足: 0%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(利用者対応)	満足: 98%	ほぼ満足: 2%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(利用しやすさ)	満足: 92%	ほぼ満足: 6%	普通: 2%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(整理整頓)	満足: 97%	ほぼ満足: 3%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(清潔感)	満足: 93%	ほぼ満足: 7%	普通: 0%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(換気)	満足: 95%	ほぼ満足: 3%	普通: 2%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>・イベント、クラブに毎回楽しく参加しています。もっと回数が増えるといいな。 ⇒地区主催のイベントについては、役員の方と相談になります。意見があったことをお伝えします。</p> <p>・トイレが寒いです。 ⇒なかなか改善できず、申し訳ありません。市へ意見があったことを伝えます。</p> <p>・写真を撮ってもらえると嬉しいです。 ⇒フォトコーナーの写真など職員がお手伝いしています。お声がけくださいね。</p> <p>・仕掛け絵本がもっとあると嬉しいです。 ⇒新しく購入しました。</p>																																										

●指定管理者の選定基準に基づく評価(本郷児童センター)

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者のニーズ、苦情の把握 ・利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	S	S	S
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体力増進指導に関し知識技能を有する者)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>□業務改善や工夫、新規事業について(効果性③)</p> <p>新規事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォトコーナーの乳児用を準備 赤ちゃん用の寝たまま撮影できるフォトコーナーを準備し、大変喜ばれました。 ・「スクラップブックワークショップ」の開催 小学6年生とその保護者対象に小学生までの成長記録を残すためにアルバム作りを開催しました。素敵なアルバムの完成に、「部屋に飾ります」と親子で大変喜ばれました。 ・育児ストレスを緩和できる「香りのワークショップ」の開催 保護者対象に子育ての疲れを緩和するための香りのワークショップを開催しました。子どもの成長に影響のない香りや育児の疲れを緩和する香り、花粉症に効く香りなど、リラックスできる香りを学ぶことができ、満足されていました。 ・絵本を使った「リトミック」の開催 大人気のリトミック講座で絵本がわかり始める1才のリトミックに 絵本を取り入れてもらいました。絵本の楽しさと音楽あそびのリトミックのコラボに大変喜んでもらえました。 <p>業務改善や工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日の未就学児対象イベントの充実 本郷児童センターでは、土日の未就学児と父親の利用が多いため、父親が参加できるイベントを開催しました。「木育講座」の開催 木育指導員を講師として招き、ヒノキのマラカス作りを開催しました。無患子(むくろじ)の実の皮をはがし、自然のものが石けんの代わりになることを学びました。その中の実と大豆や米などを使って自分好みの音のマラカスを作りました。木の温かみと柔らかい音が感じられると喜ばれました。 ・「お父さんとあそぼう」の開催 毎月第2、4土曜日の午前に定期開催しました。平日勤務のため幼児クラブに参加できない父母も未就学児と参加できると喜ばれました。いつも母親と参加している幼児も、父親の高い高いや大きな動きに喜んでいました(下半期8回開催)。 ・「休日あそびのひろば」の開催 土日祝日に不定期に開催しました。パレンティンデーのプレゼント用の足形アートや工作、親子で体を使って楽しむあそびを中心に行いました(80名以上参加)。 ・「多世代交流リトミック」の開催 平日に開催しているリトミックを、家族みんなで参加できるように多世代交流リトミックとして土曜日に開催しました。小学生を含めた年長児も参加できるイベントを開催してほしいと要望があり、開催をしました(2回開催40名参加)。 ・子育て相談の実施 育児で困ったことをいつでも相談できるようにするため、施設のタブレットを使った子育て相談を行いました。沖ノ橋認定こども園保育士と元児童館職員の2名に必要であれば日時を合わせてすぐに相談できる体制をとりました。発達の遅れなどを心配された保護者の悩みなど真摯に相談にのっていただきました。 ・保健センター保健師による個別子育て相談を実施しました。 本郷児童センターの職員も 育児相談や近隣に住む児童に対して保護者からの相談を受けました。 ・保健師によるこどもの感染症、離乳食の話と身長体重測定 保健センターの保健師に2回来館していただきました。「こどもの感染症」と「離乳食」についての話をしてもらいました。成長の目安となる身長と体重が測れてよかったと喜んでいただけました。 ・「木育ひろば」の開催 上半期の5月に開催し、好評だった「木育ひろば」を1月にも実施しました。森と木からの学び「ぎふ木育30年」のステップ1(幼児期)の木のおもちゃで遊ぶ機会を身近な児童センターで気軽に参加できるようにしました。安全に配慮するため年齢別に3回と 母親クラブの本郷子育てサークルと明德青少年育成市民会議主催の子育てサークルで1回実施しました。木育指導員から、木の話や幼児期に木に触れ合うことで心の安定につながることを学びました。上半期に参加し、下半期開催を楽しみにされている親子が多く、「もっと(木のおもちゃで)遊びたい」と喜ばれました。 ・元児童館職員による0才幼児クラブの開催 月に1度来館していただき、絵本の読み聞かせや親子ふれあいあそびやベビーマッサージなどを教えていただきました。 ・絵本コーナーの充実 地元の本屋やリサイクルショップで絵本を購入し、利用者が新しい絵本を楽しめるようにしました。絵本棚に職員おすすめの特典コーナーを作り、絵本を楽しんでいただきました。大人の方にも楽しめる絵本やアンケートで要望のあった仕掛け絵本を購入しました。 新刊や大型絵本など、すぐに購入できない絵本を借りるため、岐阜市立中央図書館の団体貸出カードを登録しました。 ・こども委員会で意見のあったイベントなどの開催 土日は忙しく、イベントに参加できないと意見にあり、工作を平日にできるようにしました。宿題ルームは継続し、本郷児童センターの図書室で宿題ができると友達と約束をして来館する児童もいました。 <p>□利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月のおたより発行と児童館・児童センターの場所を掲載 未就学児の保護者用と小学生用おたよりを毎月それぞれ発行しました。未就学児用向けおたよりの裏面を活用し、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の施設も知ってもらい、本郷児童センターも利用してもらえました。 ・児童用の館内案内を作成 児童センターの利用方法を記載したおたよりを作成しました。小学生以上の児童は保護者がいなくても利用できるこ
--------------------------	---

と、入館カードの記入時に緊急連絡先を記入していただくことを記載しました。

- ・ホームページによる情報提供
毎月おたよりの定期更新と事業の案内や活動の様子など、身近に感じていただけるようブログを随時更新しました。HPを見て来館され、イベントに参加される利用者もいました。また、事業開催で駐車場や館内の混雑が予想されるときは、利用者に事前に案内をしました。イベント等で駐車場が満車の場合や市内の他校区のクマ出没情報を緊急案内としてお知らせをしました。(下半期更新回数30回以上)
- ・インスタグラムによる広報・宣伝活動の充実
毎月のおたよりやフォトコーナーは随時更新し、新しいイベントの案内が閲覧できるようにしました。ハイライトも有効に利用し、必要な情報がすぐに見られるようにしました。
また、事業開催で駐車場や館内の混雑が予想されるときは、HPと同様に事前に利用者に案内をしました。イベント等で駐車場が満車の場合や市内の他校区のクマ出没情報も投稿しました。
また事業の案内、募集、活動の様子なども#や BGM をつけて写真や動画でこまめに投稿をしました。そのため、「インスタグラムを見ました」と、イベントや平日のあそびコーナーや工作などを目的に来館される利用者もいました。
Facebook やHPのリンクも貼り付け、より多くの方に本郷児童センターの情報を閲覧してもらえるようにしました。(下半期投稿回数80回以上、フォロワー305人以上)
- ・QRコードの活用によるPR
本郷児童センターの活動を知っていただくため、HPとインスタの QR コードを館内に掲示しました。また毎月発行するおたよりにも載せました。
多くの人が集まるけやきまつりや第3ブロック交流会などの移動児童館でも、知っていただくために掲示をしました
- ・母子モへの登録、広報活動
幼児対象の学期ごとの幼児クラブ案内を載せました。母子モを見て新規来館され、幼児クラブに参加された利用者もいました。「0才対象の幼児クラブを毎週開催している児童センターがあると知り、来館しました」と市内の様々な校区から参加がありました。
- ・「ツナグテ」利用者へのPR
毎月発行している未就学児用おたよりに「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただくことで、「ツナグテ」の利用者にも本郷児童センターのPRを行うことができました。
- ・幼児クラブ申し込み連携
登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。
- ・土日祝日の未就学児対象イベントの充実(再掲)
- ・子育て相談の実施(再掲)
- ・保健師によるこどもの感染症と離乳食の話と身長体重測定(再掲)
- ・「木育ひろば」の開催(再掲)
- ・元児童館職員による0才幼児クラブの開催(再掲)
- ・年齢別「リトミック」の開催
毎月1回リトミッククラブを開催しました。安全に配慮するため、0才、1才、2才以上と年齢別で入園まで切れ目なく実施し、3人の講師に依頼をしました。講師が変わると、活動内容も目新しく、どの年齢も人気がありました。定員がいっぱいになった時は、キャンセル待ちをしていただき、欠席の時は、キャンセル待ちの方に優先的に参加していただきました。当日キャンセルなど定員に空きがある場合も、リトミック開催を知らずに来館した方に声をかけ、参加をもらうことで、新しい方にも事業を知ってもらえました。「0才から参加できるのがいい」、「子どもが喜んでいました」、「参加してよかったです」、「保護者も楽しかった」、「できなかったことができるようになり、嬉しい」と言われ、次も楽しみにされていました。
- ・未就園児対象自由参加の幼児クラブを年齢別に開催
年齢別に自由参加の幼児クラブ「0才の集い」、「1才の集い」、「2才以上の集い」を毎週開催しました。本郷児童センターの周りには市内中心部で転勤族が多いため、学期ごとの登録制幼児クラブにすると次の申し込みまでお待たせすることになります。そのため、いつからでも参加できるようすべて自由参加としました。予約なしの自由参加を気楽に参加できると評価していただけました。
- ・0才と1才対象に「ハイハイレース」を開催
毎月第2木曜日、金曜日に開催している「ハイハイレース」や「よちよちハイハイレース」に参加できることを目指して0才の集いや1才の集いに参加される方も多くなりました。自分のお子さんだけでなく、他のお子さんのがんばりをほめ、笑顔いっぱいの中で開催できました。
- ・「絵本ライブ」の開催
絵本好きな子に育てほしいという保護者の思いを受け止めるため、「絵本ライブ」を10月に開催しました。体を動かしながらギターを生演奏で絵本を楽しめるため幼児親子に喜ばれました。終了後、絵本コーナーを利用する親子が多くなりました。
- ・京町保育所の保育士による0才親子へのあそびの紹介
京町保育所の保育士に2か月に1度来館してもらい、0才親子にふれあいあそびを教えてもらいました。毎回新しいあそびやふれあいあそびを教えていただけるので、参加される親子も楽しみされていました。職員も新しいふれあいあそびを学べるよい機会でした。
- ・工作や遊戯室での遊びのコーナーを平日毎日実施、フォトコーナーを季節に合わせて用意
幼児の手形・足形を使った工作を実施しました。父親へのバレンタインプレゼントは特に人気でした。また、月ごとに変わる作品(サンタクロースやひなまつりなど)を楽しみに毎月来館されるリピーターも増えました。初めて利用される方に説明すると、「毎日工作や手形足形アートができるのですか？嬉しいですね。」と喜ばれる方が多く、すぐに制作される方もいました。アンケートにも平日毎日対応してもらえる点を評価してもらえました。(上半期より80名多い、330名参加)。
工作も季節に合わせて毎月変わるので作るのを楽しみに来館される方もいました(上半期より50名以上多い、180名以上参加)。
- ・遊戯室でのあそびのコーナーを週替わりでイベントのない平日に毎日実施しました。寒い季節は外で遊ぶことができないため、広い部屋で体を思いっきり動かせるうんどうあそびが好評でした(上半期よりも200名以上多い、600名以

上が参加)。
フォトコーナーも季節に合わせたものを準備し、HP やインスタグラムで変わるたびにお知らせをしました。変わるたびに写真を撮りに来館される親子もいました。乳児用のフォトコーナーも喜ばれました。

・未就学児対象に出席カードの作成

来館するたびにシールが貼れるカードを用意し、未就学児も来館する楽しみをもっといただけるように準備しました。1枚のカードがいっぱいになる毎に、職員の作った折り紙をプレゼントしました。シールを貼ることやプレゼントを楽しみに来館されていました。

・図書室、集会室の整理

古い本を整理し、本棚のペンキを塗り、きれいにしました。棚を片づけたことで、おもちゃやゲームをたくさん並べることができました。新しいゲームやおもちゃを購入しました。また感染症対策で片づけてあったゲームをきれいにし、使用できるようにしました。廃材を利用したゲームも作成しました。廃材を利用したゲームは、チャレンジゲームとして児童が何度も挑戦してくれました。おもちゃやゲームが増え、遊びやすくなったと喜んでくれました。

・絵本コーナーの充実(再掲)

・こども委員会で意見のあったイベントの開催(再掲)

・イベント案内版について

館内に行事の案内版を作り、未就学児用と児童用に分けて利用者にわかりやすいように掲示をしました。工作は見本も一緒に掲示をしました。

・安心して遊べる環境づくり

職員による施設点検を毎朝実施。感染症のリスクや壊れたおもちゃでけがをしないよう幼児が使用するおもちゃは、昼と夕方に消毒と点検を行いました。

・おもちゃ病院の開催

おもちゃ病院のお知らせの QR コードを館内に掲示しました。また SNS でお知らせすることで、本郷児童センターを壊れたおもちゃの持ち込みや修理されたおもちゃの受け取りの場所として市内の様々な校区から来館があり、活用されました。

□人材育成の方策(安定性⑩)

【スキルアップ研修会】(事業団内児童館・児童センターの職員が講師となり、持ち回りで開催)

「0歳児簡単工作・ふれあいあそび(10/29 柳津児童館)」0歳が楽しめる感触や音、動きがある工作やふれあいあそびが参考になり、すぐに活動に取り入れました。

「小学生行事で人気の工作(11/6 東児童センター)」 工作の内容だけでなく、小学生に作り方をどう伝えるかも学ぶことができました。

【スキルアップ研修会】(外部講師)

・不審者対策研修会(11/27 西児童センター) 玄関での声かけの大切さと定期的な刺又の使用方を学ぶ必要性を感じました。

・子どもにおける外傷対応の基礎知識(1/20 岐阜大学) 安全な環境作りと、けがをした時に周囲の人が素早く手当をすることで予後の状態に影響するため、早期対応の大切さを学びました。

・絵本読み聞かせ研修会(1/22 ドリームシアター岐阜) 聞き手が心地よく聞くことができるよう、読み手がゆったりと読むことを意識して読むことを心がけるようになりました。

・子どもの人権を考える(2/26 講師:岐阜市人権啓発センター) 講座だけでなく、実技もありわかりやすく学ぶことができました。

・感染症対策研修、BCP研修(2~3月 WEB研修 全職員) 災害発生時のBCPの取り組み、感染症発症時に広げないためにどうしたらよいかなどを学びました。

【児童健全育成推進財団研修】

・令和7年度全国こどもの健全育成リーダー養成セミナー(1/30 WEB研修「児童館をリ・デザインする～深化・進化するために～」、第3分科会「こどもの意見形成・意見反映を実践する」)「こども基本法」時代に児童館に求められる機能役割について学ぶことができました。分科会では、こどもの意見をどのような形で吸い上げ、活かしているかを3つの児童館が発表し、今後、本郷児童センターでどのようにしていくとよいか、考えることができました。

【実習・見学】

・事業団内の施設見学 アートフィールド(11/7)、さくらぎハレトケ研究所(12/4) 障がい者施設を見学し、本郷児童センターでも可能な取り組みや工作を見学しました。

・恵光学園療育実習(2/3 恵光学園) 職員がどのように子どもに言葉をかけ、自分でできることは任せる大切さ、接し方を学びました。

【こども計画研修】

・今後、すべてのこどもが安心して過ごせる居場所となるように どのように本郷児童センターを運営していくのか、市の考えを伺うことができました。

□地域の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用(⑪)

・岐阜高校生と0才乳児とのふれあい活動の開催

岐阜高校の生徒が事前に手遊びやハンドベルの練習をし、手作りのプレゼントを準備し、0才の幼児クラブに参加してくれました。手遊びや親子遊びと一緒に体験しました。その後、手遊びとハンドベルの演奏を聴かせてくれました。参加した親子は、プレゼントをサンタクロースになった生徒からもらい、嬉しそうにしていました。母親だけでなく父親も参加していたので、声掛けやおもちゃでのあそび方、0才に合わせて視線を低くして接するなど、見本となっていました。

・児童ボランティアの育成

本郷市民文化祭の作品作り、幼児クラブの手伝い、障がい者施設に季節の飾りを作って届けるなど活躍できる場を設け、地域の方に認めてもらえるボランティア育成を行いました。

・母親クラブの開催協力

上半期より、参加人数を増やすため、月1回活動の本郷児童センター母親クラブの子育てサークル「コアラ」と、明徳青少年育成市民会議家庭部会主催の親子ふれあい教室「とっこクラブ」は月2回のうち1回を、本郷児童センターで

	<p>合同開催としました。活動内容も、参加人数が増えたことで広がり、参加者はもちろん役員にも喜ばれました。活動については、上半期に好評であった木育ひろばなど新しい活動を紹介し、児童センター職員が支援をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リトミック講師の依頼 地元出身の方に2オトリトミック講師として依頼しました。 ・絵本ライブの開催(再掲) 地元にお住いのおおきな木の杉山さんに絵本ライブを依頼しました。 ・子育て相談の実施(再掲) ・地元の方からの寄付を活用 折り紙で作った箱をたくさんいただき幼児の工作、移動児童館などの事業に活用し、利用者の方に大変喜んでいただきました。 ・おもちゃ病院の開設に協力をさせていただきました。 ・当法人内の就労継続支援B型事業所による施設清掃を実施しました。 <p>□地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(貢献性⑬)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校先生との情報交換会への参加 明郷小コミュニティ・スクールに参加し、小学校や中学校の先生や地域の方々との情報交換を行いました。岐阜小学校や徹明さくら小学校へも、子どもたちに何か変化があれば、迅速な対応ができるようにしました。 また明郷コミュニティスクール「地域教育部」の委員の委嘱を受け、委員会に参加し地域の方々との意見交換も行いました。 ・子ども110番の家の登録 子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。月ごとの下校時刻の一覧表をいただき、児童センター前を通る下校時の見守りに協力をしました。 児童センター閉館後、土手から落ちた子どものケガの手当てをし、本郷児童センター近くの自宅まで送り届けました(学校が休校日で、電話番号が不明で、家庭からの迎えができず、このような対応となりました)。後日、学校から連絡があり、大事に至らなかったと連絡をいただきました。 児童センターから帰宅する際は、職員に伝えるルールを必ず守ってもらい、見送りをしました。 ・本郷けやきまつりへの協力 けやきまつりに本郷校区にある就労継続支援B型事業所と生活介護施設と協力してコーナーを出しました。まつりの中で幼児の参加できるコーナーが少ないため 廃材を利用したおもちゃ作りを実施しました。 ・本郷市民文化祭への協力 本郷公民館で開催された文化祭の展示部門に本郷児童センターの活動紹介と作品と児童ボランティアが制作したサボテンを展示しました。 ・明德校区親子ふれあい教室への開催協力 明德公民館で明德青少年育成市民会議と未就園児親子サークルを開催しました(11月)。 ・京町校区親子ふれあい教室への開催協力 京町公民館で京町青少年育成市民会議と未就園児親子サークルを開催しました(10月、12月、1月、2月)。 ・本郷校区親子ふれあい教室への開催協力 本郷児童センターで本郷青少年育成市民会議家庭部会主催の親子ふれあい教室の開催に協力をさせていただきました。市中心部の子どもが減ってきている中、近所に子どもがいないという保護者の方が多く、教室に参加することで知り合いになるきっかけ、出会いの場のお手伝いできました。 ・金華、京町、明德、本郷、木之本、徹明、梅林、白山、華陽、本荘校区合同親子ふれあい教室への開催協力 第3ブロック青少年育成市民会議家庭部会から、「みんなであそぼう交流会」の依頼を受け、移動児童館に行き、活動のお手伝いをしました。親子ふれあいあそびやうんどうあそび、足形工作、絵本の読み聞かせを行いました。寄付でいただいた、折り紙の箱は参加した親子と役員に配り、喜ばれました。 ・地域の資源分別回収へ資源ごみを出しました。 ・児童センター周辺道路や地域の清掃活動を実施する、岐阜版アダプトプログラムに参加し 児童センター周辺の清掃活動を毎週1回以上実施しました。ご近所の方にいつもきれいにさせていただけてありがとうございますと感謝をされました。 ・地域の清掃に参加 けやきまつり前に行われた道路の落ち葉清掃に参加しました。
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○小学生による幼児への絵本の読み聞かせを行うなど、異年齢間交流の機会を積極的に作っている点は評価できる。</p> <p>→幼児クラブに岐阜高校の学生や小学生に参加してもらい、0才の乳児や1、2才の幼児とふれあいを行いました。高校生は、手遊びとハンドベルを、小学生は、ペープサートを演じてくれました。参加していた、親子にとっても喜ばれました。</p> <p>多世代交流を目的に、土曜日に「多世代交流リトミック」を行い、音楽に合わせて体を動かすことが楽しいと喜ばれました。</p> <p>今後も多世代が交流できる活動を継続して参ります。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□こどもや保護者の居心地のよい本郷児童センターとなるよう、こどもの意見や保護者の意見をこども委員会やアンケート調査を行います。また、積極的に利用者とのふれあい、今、何が求められているのかを知り、利用者の要望に合わせた事業を実施して参ります。</p> <p>□運営委員や地域の方、講師やボランティアの力をお借りし、利用者にと求められている事業を開催して参ります。</p> <p>□利用者が安心して利用できるよう、施設内の点検をいたします。乳幼児のおもちゃの衛生には気をつけ、館内を清潔に保てるよう気をつけて参ります。</p> <p>□子どもや保護者の支援に役立つ研修に積極的に参加し、職員全員の資質向上を図って参ります。</p>

●所管課の意見

○休日にお父さんの利用が多く、毎月第2、4土曜日の午前中に「お父さんとあそぼう」を定期開催し、お父さんと一緒に参加できる遊びを提案できている。
○年齢別の「リトミック」を開催し、当日キャンセルなど定員に空きがある場合は、来館した方にも声をかけ、新しい方にも事業を知ってもらえるよう積極的に動いている点が評価できる。

●指定管理者評価委員会の意見

○インスタグラムを活用してイベントの周知を行っている点について、コメントやダイレクトメッセージには原則対応しないとした方が、問題は生じない。問い合わせに関しては公式の窓口に限定という形で対応した方が安全である。